

宇都宮基署発 0424 第 1 号
平成 31 年 4 月 24 日

一般社団法人宇都宮労働基準協会長 殿

宇都宮労働基準監督署長



転倒災害防止対策の強化に向けた緊急要請について

平素から労働基準行政の推進につきまして、格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当署管内の平成 30 年における休業 4 日以上労働災害は、前年比で 41 人 8.3% 増の 536 人と大幅な増加となり、平成 22 年以来 8 年ぶりに 500 人を超える最悪の結果となりました。

特に、転倒災害の増加は著しく、前年比 30% 増の 153 人で過去最多となり、管内の労働災害のほぼ 3 人に 1 人を転倒災害が占めています。また、この内の 70% 以上が骨折を伴う重症災害で占められており、被災者は何れも長期の休業を余儀なくされています。

このため、当署としては、急増している転倒災害の増加傾向に歯止めを掛けるべく、昨年度に引き続き、別添リーフレットの通り「3A 運動」（「あせらない」「あわてない」「あなどらない」）を管内で展開し、あらゆる機会を通して転倒災害防止対策を指導強化することと致しました。

つきましては、貴団体におかれましても、本要請書の趣旨・緊急性をご理解の上、転倒災害防止対策の徹底に向けた一層の取組を頂きますと共に、傘下会員事業場に対し別添リーフレットを周知頂き、転倒災害防止活動の一層の強化を指導頂きたく緊急に要請いたします。

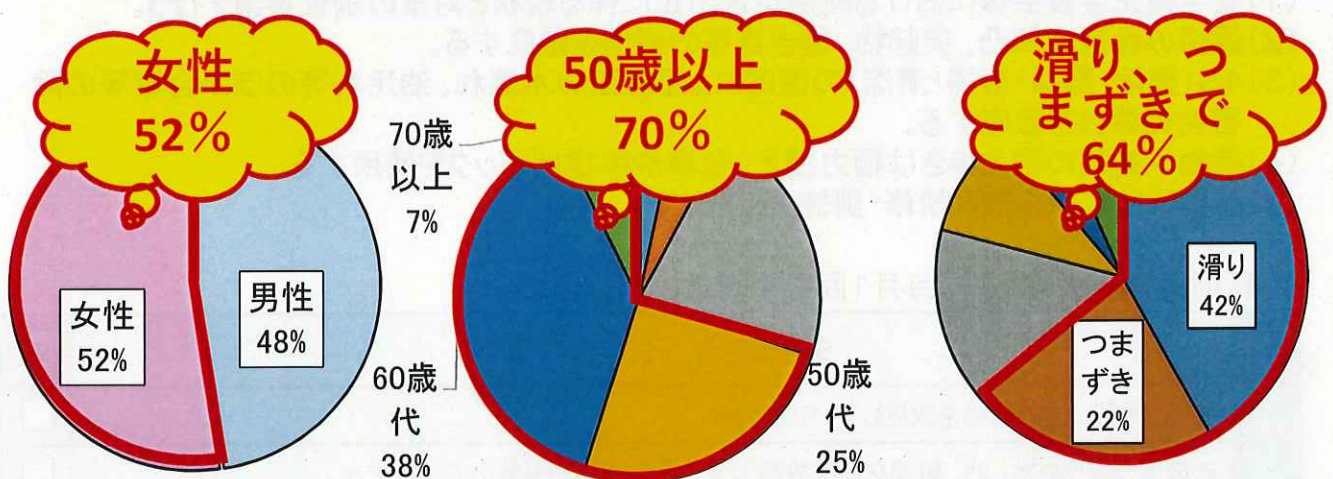
※ 「3A 運動」のリーフレットは栃木労働局HP内の宇都宮労働基準監督署のページに掲載してありますので、ダウンロードの上ご活用下さい。（栃木労働局HP > 労働基準監督署の所在地を知りたい > 労働基準監督署からのお知らせ > 宇都宮労働基準監督署からのお知らせ）

ストップ！転倒災害

～3A運動展開中～



- 宇都宮監督署管内の平成30の転倒災害は、前年比30%増の153件発生しており、過去最悪の結果となりました。



- 転倒災害を分析すると、女性労働者が52%、50歳以上の高年齢労働者が70%と多く発生している。
- また、転倒の原因では、「滑り」と「つまずき」で64%を占めている。

歩くときは、あわてず足元に注意しましょう！



宇都宮労働基準監督署

3A運動実施要綱

宇都宮労働基準監督署

1 趣旨

宇都宮労働基準監督署管内の平成30年における休業4日以上労働災害は、前年比で41人8.3%増の536人と大幅に増加し、平成22年以来8年ぶりに500人を超える最悪の結果となりました。

特に、転倒災害の増加は著しく、前年比30%増の153人で過去最多となり、管内の労働災害のほぼ3人に1人を転倒災害が占めています。

このため何としても労働災害の増加傾向に歯止めをかけ、労働者一人一人が健康でケガのない職業生活を笑顔で送るため、転倒災害防止対策に重点を絞った「3A運動」を昨年度に引き続き実施することとします。

3A運動とは、労働者が特に心掛ける歩行行動を表した「あせらない」「あわてない」「あなどらない」のキーワードの3つの頭文字を取り、安全な歩行行動の定着化を図ることにより、転倒災害を防止するものです。

- 「あせらない」: 早くしなければと感じても苛立たない。
あせていても足元確認をおろそかにしない。
- 「あわてない」: 突然の出来事にも落ち着いて行動する。
あわてて走らない。
- 「あなどらない」: ちょっとした段差や濡れた床をあなどらない。
転倒をあなどらず教育の対象とする。

2 期間

平成31年4月1日から平成31年12月31日までの9か月間

3 実施事項

- (1)安全衛生委員会等における転倒災害防止に係る現状と対策の調査審議を行う。
- (2)通路の段差や凹凸、突起物、継ぎ目等の解消を徹底する。
- (3)4S(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底による床面の水濡れ、油汚れ等のほか台車等の障害物の除去を徹底する。
- (4)荷物や書類の抱え歩きは極力控え、台車や手提げバックを使用する。
- (5)転倒予防に係る教育研修・訓練を実施する。

4 転倒災害防止のため、毎月1回必ず点検しましょう！

	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつ、ちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか	<input type="checkbox"/>
8	荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか	<input type="checkbox"/>
9	ながらスマホやポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
10	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>